

株式会社 学研ホールディングス
第2四半期決算説明会

2015年5月27日

2015年9月期業績、および 2カ年計画「Gakken2016」進捗状況 ハイライト

株式会社学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭

2015年9月期業績ハイライト

2015年9月期
第2四半期
累計業績

- 売上高: 49,855百万円(前年同期比 +2,760百万円)
- 営業利益: 1,260百万円 (同 +731百万円)
- 当期純利益: △755百万円 (同 △384百万円)
 - 第2四半期より(株)文理を連結子会社化
 - 「出版事業」における特別損失計上

2015年9月期
通期業績見通し

- 売上高: 95,000百万円(前年同期比 +4,866百万円)
- 営業利益: 1,500百万円 (同 +1,220百万円)
- 当期純利益: 300百万円 (同 +269百万円)
 - 2015年2月25日に公表した修正業績予想から
変更無し

2ヵ年計画「Gakken2016」進捗状況

成長軌道に乗せるための事業再構築

教育ソリューション
事業

《教育コンテンツ＆サービスの創造企業へ》

■ 成長期待分野の事業推進

- 教育ICT：学校・家庭・塾をつなぐ新たな教育モデル創造
- デジタル出版：コンテンツのマルチユースによる
多様なメディア展開
- グローバル展開：アジア各国の教育事情にあわせた
サービス提供

■ 出版事業の選択と集中

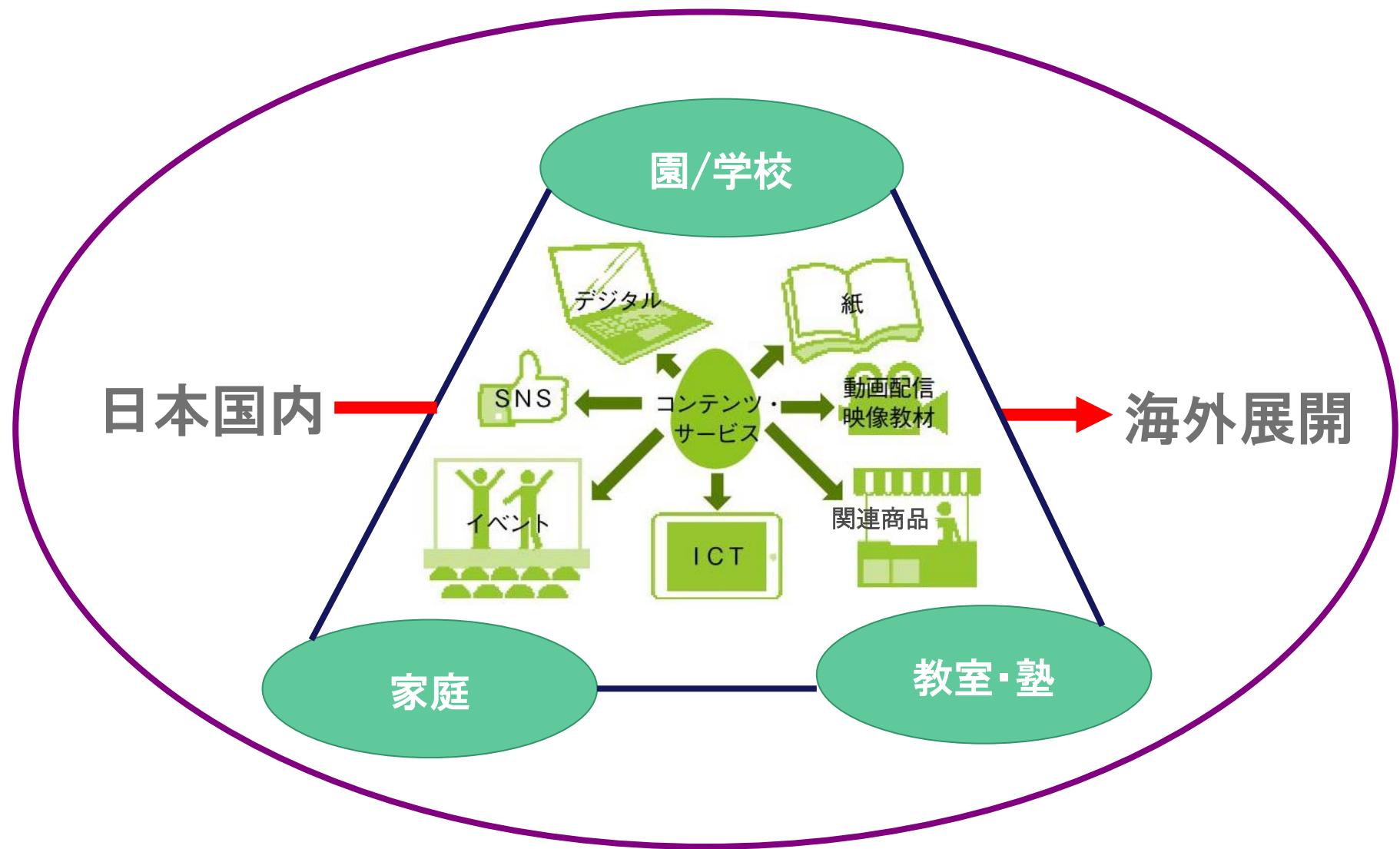
- 教育領域へ経営資源集中
- 不採算分野事業の縮小

高齢者福祉・
子育て支援事業

《2015年9月期以降の利益確保と将来成長の実現》

- 高齢者福祉施設の全国展開
- 開発案件のグループ内協力体制強化

《教育コンテンツ＆サービスの創造企業へ》



第2四半期累計業績概要 および通期業績見通し

株式会社学研ホールディングス
常務取締役 中森 知

2015年9月期第2四半期累計業績

(単位：百万円)

	‘14年9月期 2Q累計	‘15年9月期 2Q累計	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	47,095	49,855	+2,760	+5.9%
営業利益	528	1,260	+731	+138.3%
当期純利益	△ 371	△ 755	△384	—

■ 売上高

- 第2四半期より(株)文理を連結子会社化
- 「出版事業」における既存事業の減少
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の増加

■ 営業利益

- (株)文理の営業利益加算
- 「教室・塾事業」の運営効率化による利益増加
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の增收による改善

■ 当期純利益

- 出版事業の不採算事業廃止に伴う特別損失計上

2015年9月期第2四半期累計業績 特別損失計上について

2015年9月期
第2四半期累計

《出版事業における特別損失計上》

■ 計上金額：1,048百万円

〈内訳〉棚卸資産評価損等 931百万円
希望退職に伴う割増金等 116百万円

■ 計上事由：

➤ 出版事業の一部廃止

・学研M文庫 ・一部のムック(歴史、女性実用関係)

➤ 希望退職募集の実施

- ✓ 募集人員：出版事業子会社各社の正社員 若干名
- ✓ 募集期間：平成27年2月25日～平成27年3月13日
- ✓ 退職日： 平成27年4月28日

2015年9月期
下期への
インパクト

■ 在庫処分や販売経費の減少などで、前期に対し 営業利益 約400百万円改善見込

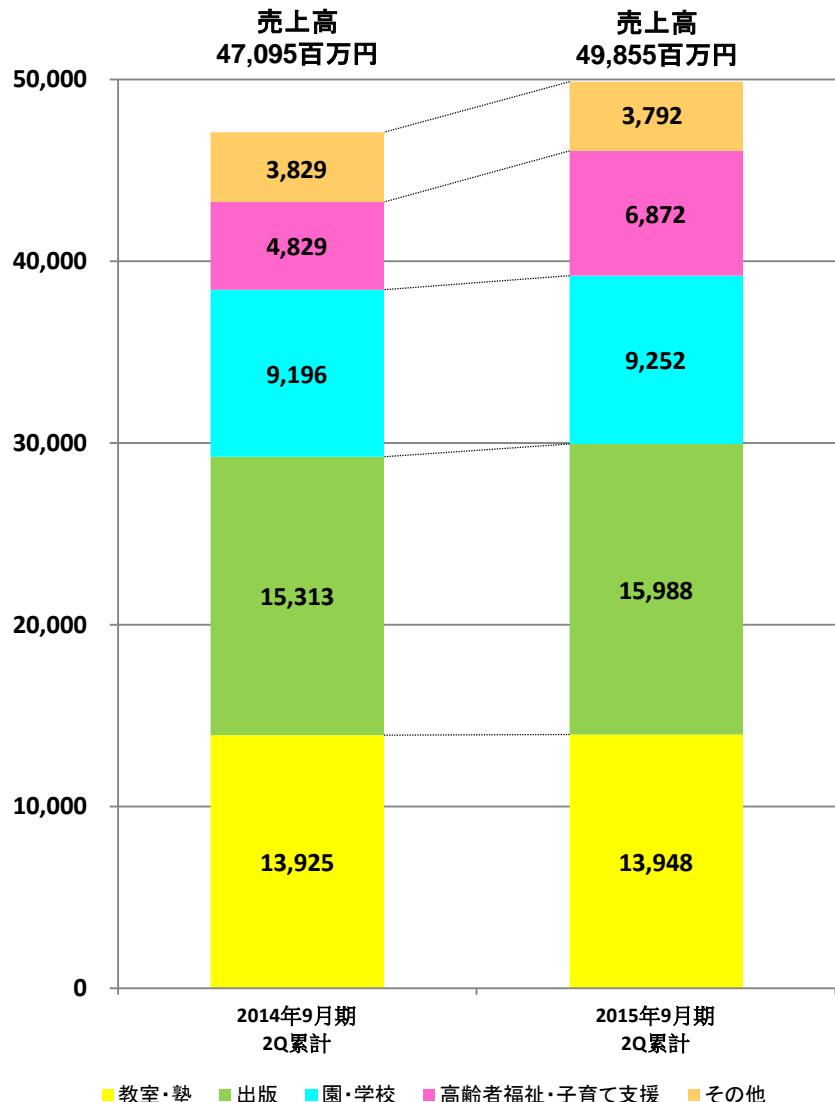
2015年9月期第2四半期累計 セグメント別業績

(単位：百万円)

セグメント名	項目	'14年9月期 2Q累計	'15年9月期 2Q累計	前期比 増減額	前期比 増減率
教育ソリューション事業	売上高	38,435	39,190	+754	+2.0%
	営業利益	936	1,339	+403	+43.0%
教室・塾事業	売上高	13,925	13,948	+23	+0.2%
	営業利益	645	987	+342	+53.0%
出版事業	売上高	15,313	15,988	+675	+4.4%
	営業利益	△ 292	△ 321	△28	—
園・学校事業	売上高	9,196	9,252	+55	+0.6%
	営業利益	584	673	+89	+15.3%
高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	4,829	6,872	+2,042	+42.3%
	営業利益	△ 419	△ 132	+286	—
その他	売上高	3,829	3,792	△36	△1.0%
	営業利益	17	52	+34	+197.6%
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	△ 5	0	+6	—
合計	売上高	47,095	49,855	+2,760	+5.9%
	営業利益	528	1,260	+731	+138.3%

セグメント別業績 《売上高》

(単位：百万円)



※()内は前年同期比

■ 教室・塾 (+23)

- 「学研教室」事業：生徒数微減
- 進学塾事業：顧客単価アップ等による増加

■ 出版 (+675)

- 不採算分野の事業見直しに伴う送品減少
- 児童向け読み物等の販売部数伸び悩み
(既存事業売上高: △2,146)
- (株)文理の連結子会社化による増加(+2,821)

■ 園・学校 (+55)

- 小学校保健体育分野での教科書指導書等の販売高増加

■ 高齢者福祉・子育て支援 (+2,042)

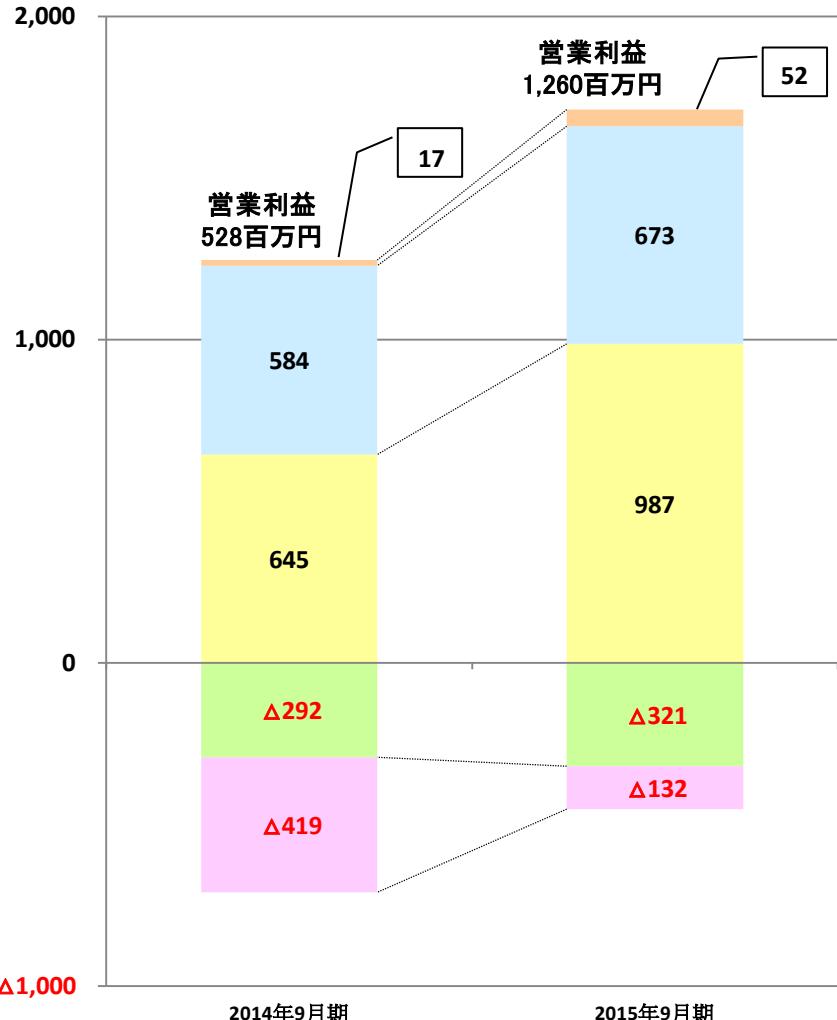
- サ高住の新規開設による増加 (+975)
- 西日本エリアの医療法人等からの高齢者物件承継による増加(+677)

■ その他 (△36)

- 文具・雑貨事業や採用・就職支援事業での減収

セグメント別業績 《営業利益》

(単位：百万円)



■ 教室・塾 (+342)

- 教室運営の効率化、募集費・販促費等の適正化によるコスト減

■ 出版 (△28)

- 既存事業は減収・不採算事業の在庫整理などで減益 (△757)
- (株)文理の業績加算により損失減少 (+729)

■ 園・学校 (+89)

- 小学校保健体育分野での教科書指導書の売上増による増益

■ 高齢者福祉・子育て支援 (+286)

- 增收、施設運営の効率化によるコスト減

■ その他 (+34)

- 家庭訪問販売事業の損益改善

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	'14/9月末	'15/3月末	増減	増減率
流動資産	46,648	51,300	+4,652	10.0%
固定資産	27,851	35,593	+7,742	27.8%
資産合計	74,499	86,894	+12,394	16.6%
流動負債	21,129	30,063	+8,934	42.3%
固定負債	20,463	22,510	+2,047	10.0%
負債合計	41,592	52,574	+10,982	26.4%
純資産合計	32,907	34,319	+1,412	4.3%
負債・純資産合計	74,499	86,894	+12,394	16.6%

■現預金: △2,542百万円
※連結キャッシュフロー計算書参照
■売掛債権: +7,007百万円

■有形固定資産: +5,640百万円
・サ高住開設による増加
■投資その他の資産: +1,457百万円

■買掛債務: +2,356百万円
■短期借入金: +3,763百万円

■長期借入金: +1,048百万円
・サ高住開設による借入

■株主資本: △1,745百万円
・利益剰余金: △1,786百万円
■その他の包括利益累計額:
+2,005百万円
・評価差額金: +721百万円
・退職給付に係る調整累計額: +1,158百万円
■少数株主持分: +1,139百万円

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	'15年9月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 608
税金等調整前当期純利益	212
減価償却費、のれん償却額	786
引当金増減	795
売上債権の増減額	△ 5,911
たな卸資産の増減額	1,370
仕入債務の増減額	1,409
法人税等の支払額	△ 294
その他	1,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,235
有形・無形固定資産の取得・売却	△ 5,346
投資有価証券の取得・売却	499
その他	△ 388
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,239
借入金の増減額	3,745
配当金支払額	△ 462
その他	△ 44
現金・現金同等物増減額	△ 2,521
現金・現金同等物期末残高	12,868

- (株)文理の連結子会社化
- 園・学校事業の新年度需要

- サ高住取得

- 短期借入金: +2,959百万円
- 長期借入金: +785百万円
- ・サ高住取得による借入

2015年9月期通期業績見通し

(単位：百万円)

	'14年 9月期 実績	'15年9月期				前期比 増減額	前期比 増減率
		期首計画	2月25日 修正計画	見通し	2/25対比 増減額		
売上高	90,134	93,000	95,000	95,000	-	+4,866	5.4%
営業利益	280	1,500	1,500	1,500	-	+1,220	435.7%
当期純利益	31	700	300	300	-	+269	867.7%

◎ 2015年2月25日に公表した修正業績予想から変更無し

■ 売上高

- (株)文理の連結子会社化による増加(+3,500)
- 既存出版事業は減少(△3,000)
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の増加
 - ✓ サ高住新規開設・事業承継(+3,500)
 - ✓ 保育施設開設(+500)

■ 営業利益

※()内は前年同期比

- (株)文理の連結子会社化による利益増加(+500)
- 既存出版事業は不採算事業廃止などの効果による改善(+500)
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の利益増加(+500)

■ 当期純利益

- 「出版事業」における特別損失計上

出版事業の 今後の展開について

株式会社学研出版ホールディングス
代表取締役社長 碇 秀行

出版グループの方向性

出版事業

■ 不採算分野を縮小し、経営資源を教育分野にシフト

- 不採算事業の縮小：文庫・ムックの一部廃止、特別損失の計上
- 主力事業の強化：教育分野（学習参考書や児童書）に注力

出版PLUS
事業

■ 既存出版事業以外の収益モデルの確立

- 電子出版の拡大：学習参考書・児童書分野拡充
- 受託事業の強化：自治体・企業向け教育サービス事業増強
- 新規事業の立ち上げ：シニア層対象事業、語学関連事業など

組織再編

■ 上記を実現するためのスピードと効率を重視した組織作り

- 2015年3月 (株)文理をグループ化
- 2015年10月 出版グループ内の組織統合

主力事業の現状と方向性

学習参考書

■ 現状

- 小中学参は(株)文理のグループ化もあり、トップシェアを堅持
- 辞典もキャラクターもののヒットにより好調

■ 方向性

- ICT・語学を切り口とした新サービスを本格展開
 - ✓ 動画やアプリとリアルを組み合わせた新しい学習スタイルを提案
 - ✓ ICT準拠教材開発と塾販売強化
 - ✓ 高校学参のシェア拡大と新サービス
 - ✓ 語学事業の本格スタート

児童書

■ 現状

- 「アナ雪」「妖怪ウォッチ」のヒットによる一時的なマイナス影響
- 図鑑市場における競争激化
- 読み物市場でのヒットシリーズ開発中の踊り場

■ 方向性

- 知育・読み物・図鑑という児童書3大ジャンルでの売上利益を拡大
 - ✓ 幼児知育分野のラインナップ拡充
 - ✓ 女児向け読み物におけるヒットシリーズ立ち上げ
 - ✓ 図鑑市場でのトップシェア奪還
 - ✓ キャラクターのライセンスビジネスやグローバル展開

組織再編

2015年3月

2015年9月末まで

2015年10月予定

■ 希望退職者募集の実施

■ 出版から他セグメントへの配転

■ 出版セグメント内の3社統合

経営課題解決にスケールメリットで対応するため

- 管理部門・管理職層の効率化
- 出版PLUS事業推進部門の強化
- 編集部門の最適化
- 編集と営業の製販一体化

高齢者福祉・子育て支援事業の 今後の展開について

株式会社学研ココファンホールディングス
代表取締役社長 小早川 仁

2015年9月期第2四半期累計業績

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	'14年9月期 2Q累計	'15年9月期 2Q累計	前期比増減	'14年9月期 2Q累計	'15年9月期 2Q累計	前期比増減
高齢者福祉事業	4,226	6,063	+1,836	△346	△73	+273
子育て支援事業	602	809	+206	△72	△59	+12
合計	4,829	6,872	+2,042	△419	△132	+286

《高齢者福祉事業》

➤ ココファン首都圏※

- ✓ 入居率は前年同期比で改善

※ココファン大阪・岡山の
施設を除く

75%(14年3月末)→85%(15年3月末)

- ✓ ブロック制の導入等により個店管理体制向上

- ✓ デイサービス事業伸長

➤ ココファン大阪・岡山

- ✓ 投資コスト先行

- ✓ 入居率は事業譲受以降、改善傾向も未だ途上

《子育て支援事業》

➤ 充足率は堅調に推移

➤ 園数増による保育士等の人材確保に注力

《その他》

➤ シスケア

- ✓ 開発案件のグループ内協力体制強化

2015年9月期下期以降の取り組み

高齢者福祉
事業

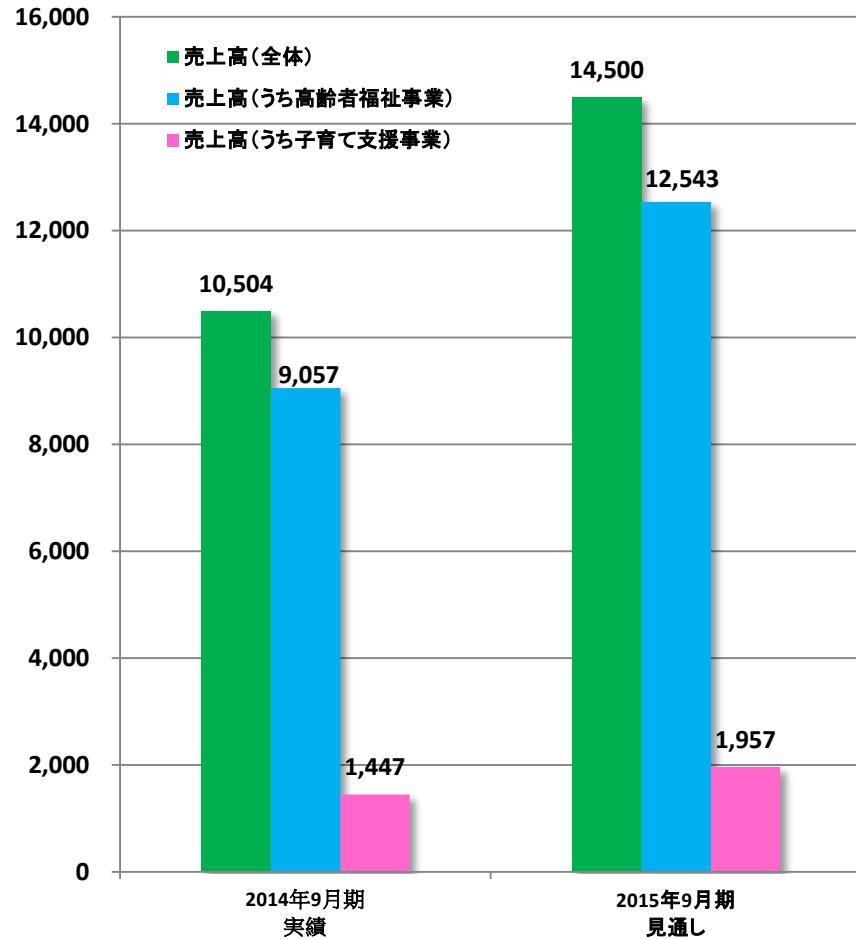
子育て支援
事業

- ココファン大阪・岡山
 - ◎ 稼働率引き上げ・運営体制の強化
 - ✓ 営業人員の投入
 - ✓ 料金体系の見直し
 - ✓ スタッフ体制の強化
 - ココファン首都圏
 - ◎ 収益性の更なる向上
 - ✓ 個店管理の徹底による入居率向上
 - ✓ 訪問介護サービスの強化
 - ✓ デイサービス事業の促進
 - 人材確保への対応
 - ✓ 保育士等の確保
 - ✓ 社宅の導入
 - 保育園のサービス向上
 - ✓ 研修体制の強化

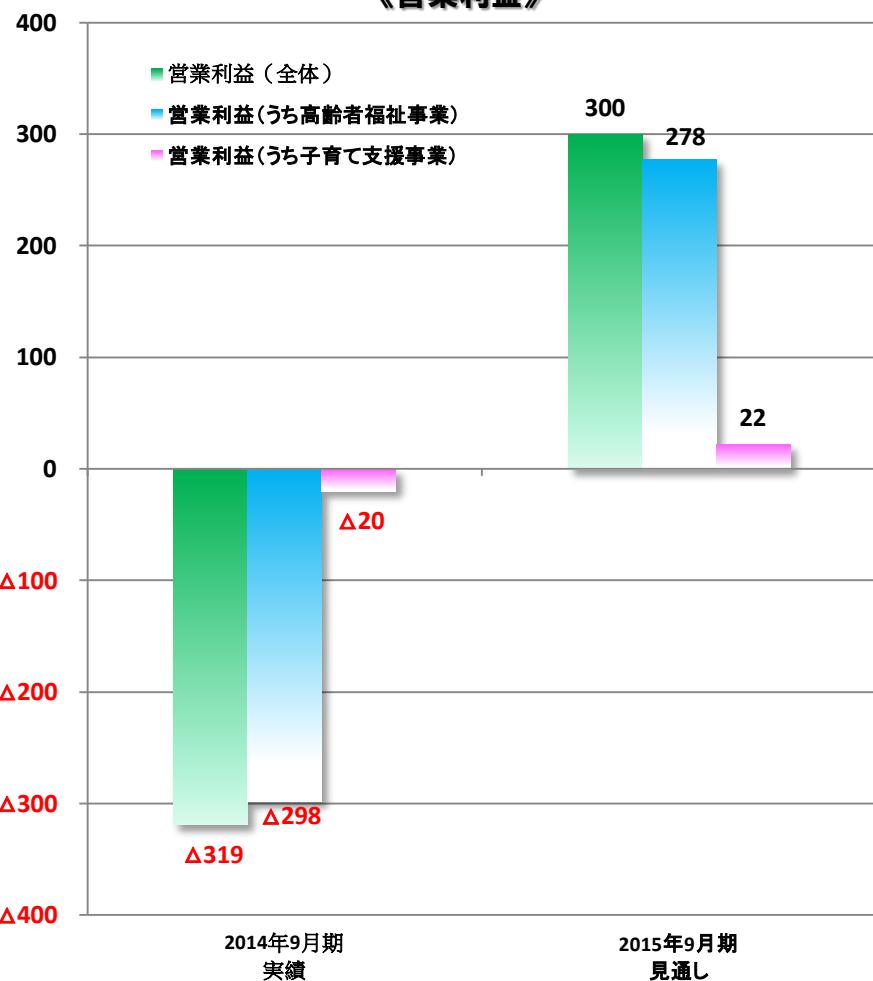
2015年9月期通期業績見通し

(単位：百万円)

《売上高》



《営業利益》



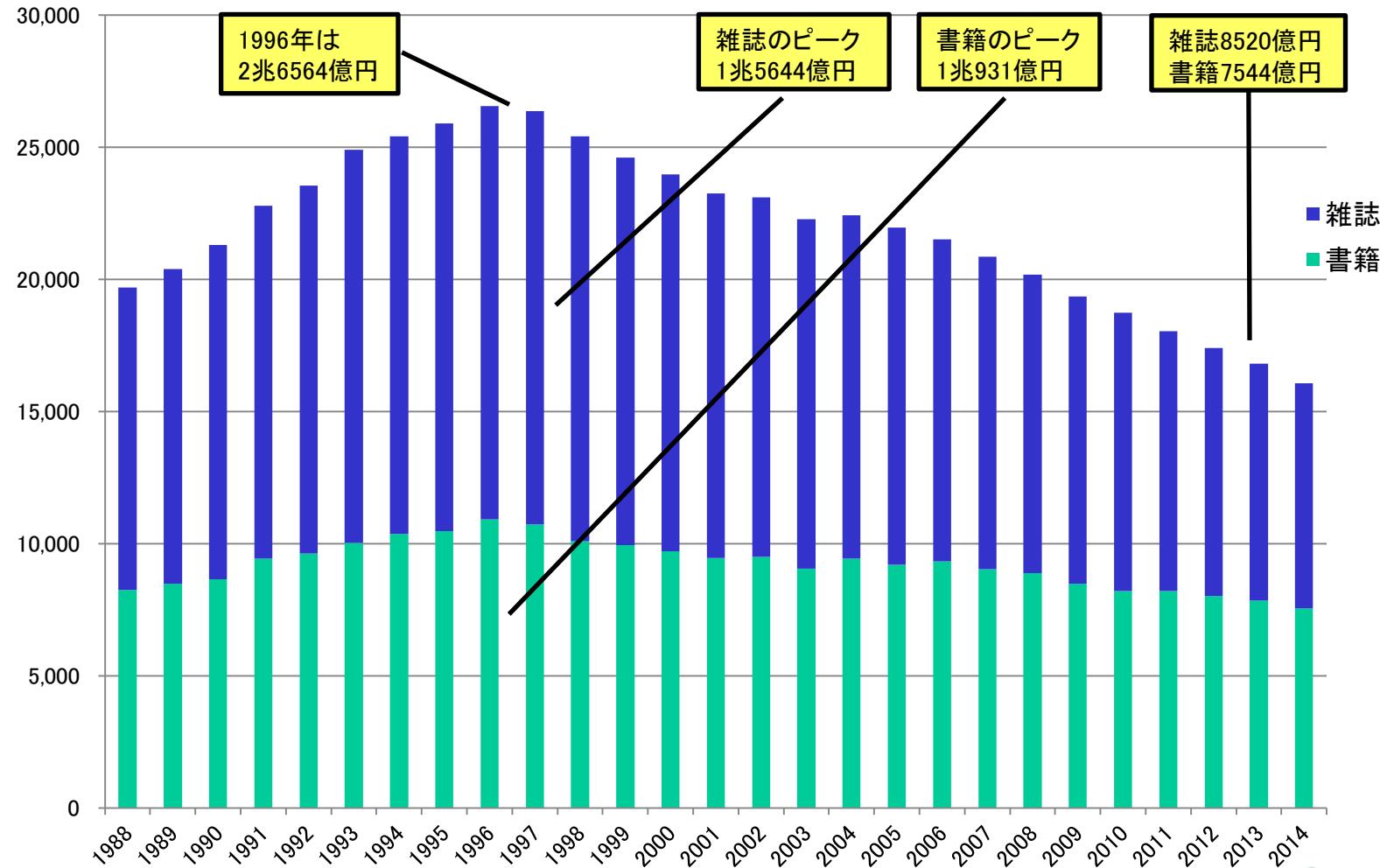
補足資料

(1) 出版業界状況

出版物売上高の推移

2014年の出版物販売金額は1兆6065億円。ピーク時の60%に

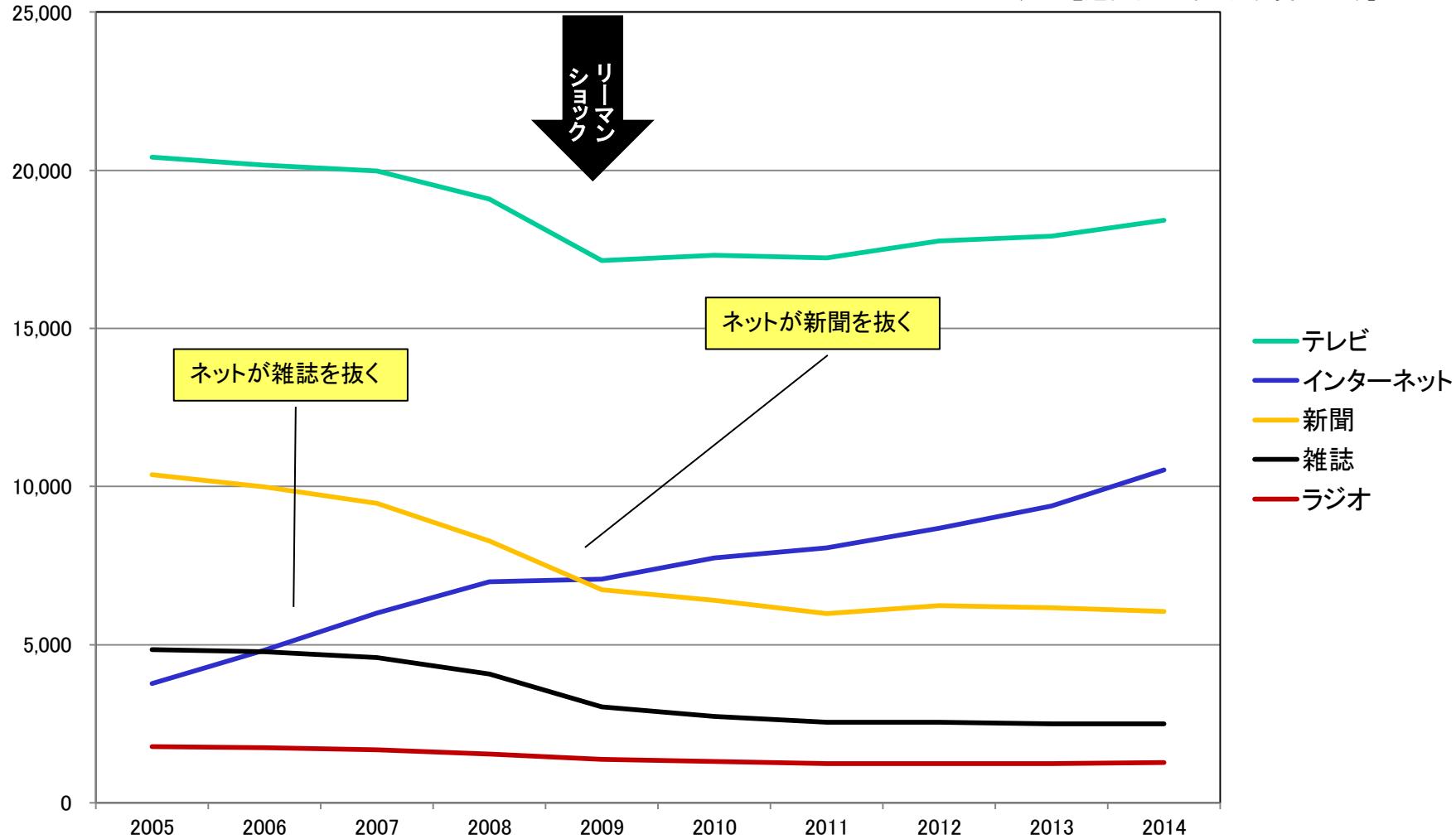
※出典／出版科学研究所「2015年版出版指標年報」



(1) 出版業界状況 媒体別広告費の推移

2014年の雑誌広告費は2500億円。2005年のほぼ半分

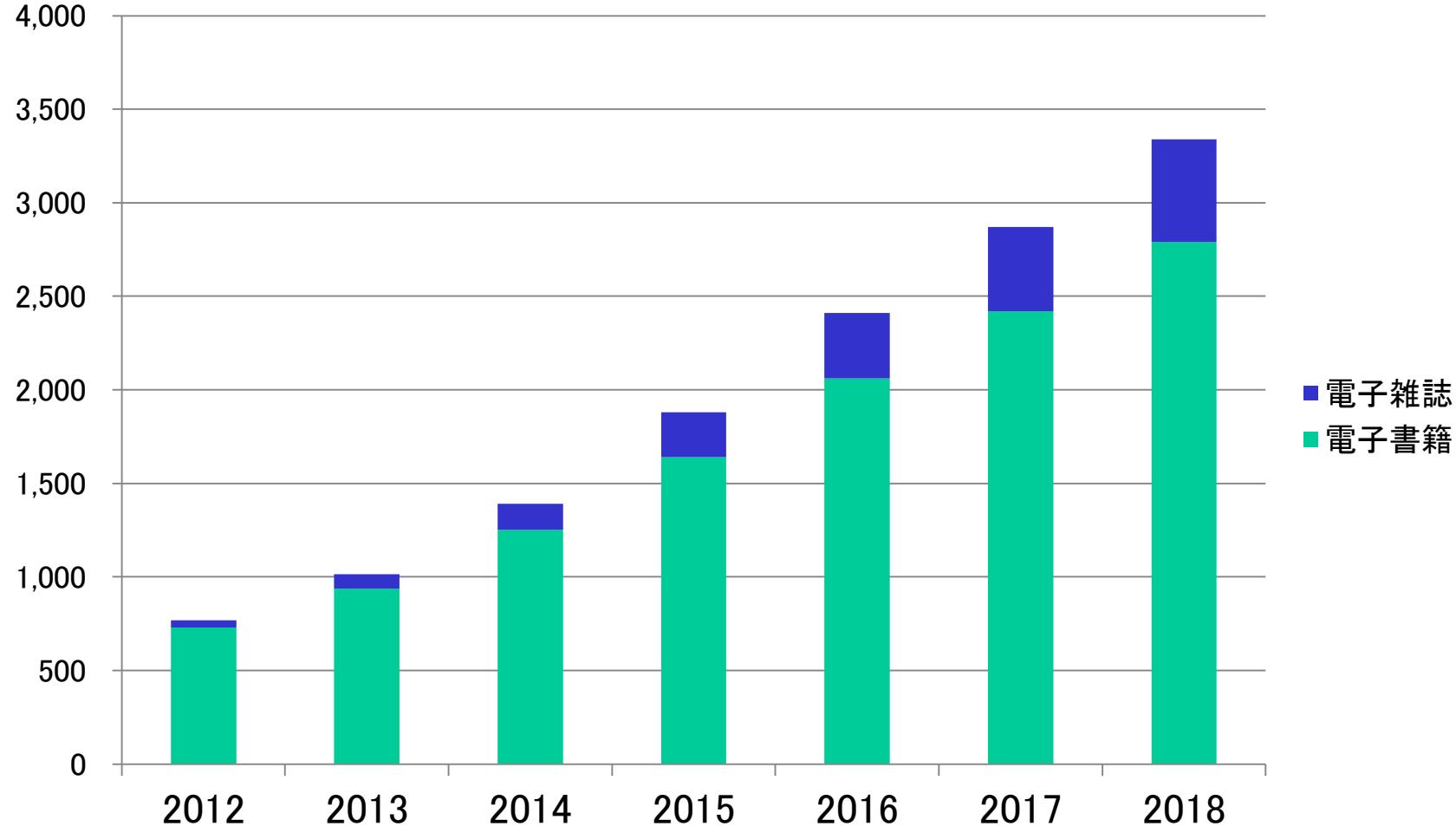
※出典／電通総研「日本の広告費2014年」



(1) 出版業界状況 国内電子出版売上高の推移

2013年に1000億円突破。2018年3340億円、2020年には4000億円超？

※2014年6月のインプレス総合研究所データによる。2014年以降は予測



(2) 高齢者福祉・子育て支援事業 事業展開の状況

開設実績

開設拠点数	'14年9月期		'15年9月期上期		'15年9月期上期(累計)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
高齢者住宅	10	9	6	8	86	87
保育施設	8	5	0	0	24	21

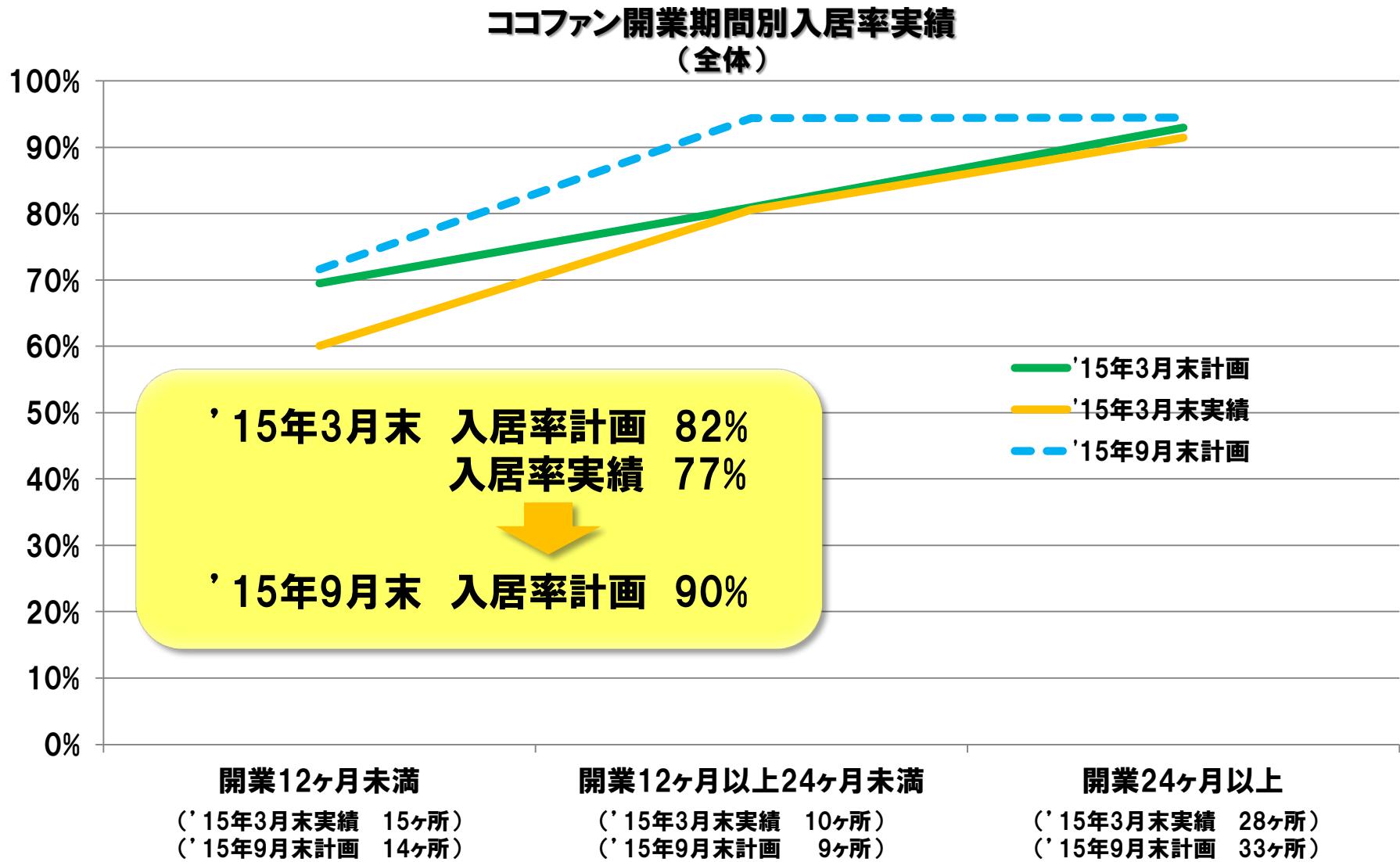
'15年9月期上期の地域別開設状況

開設数	開設地域
高齢者施設	大阪府(5) 岡山県(2) 愛媛県(1) 《計8拠点》
保育施設	(全て2015年4月に開設予定)

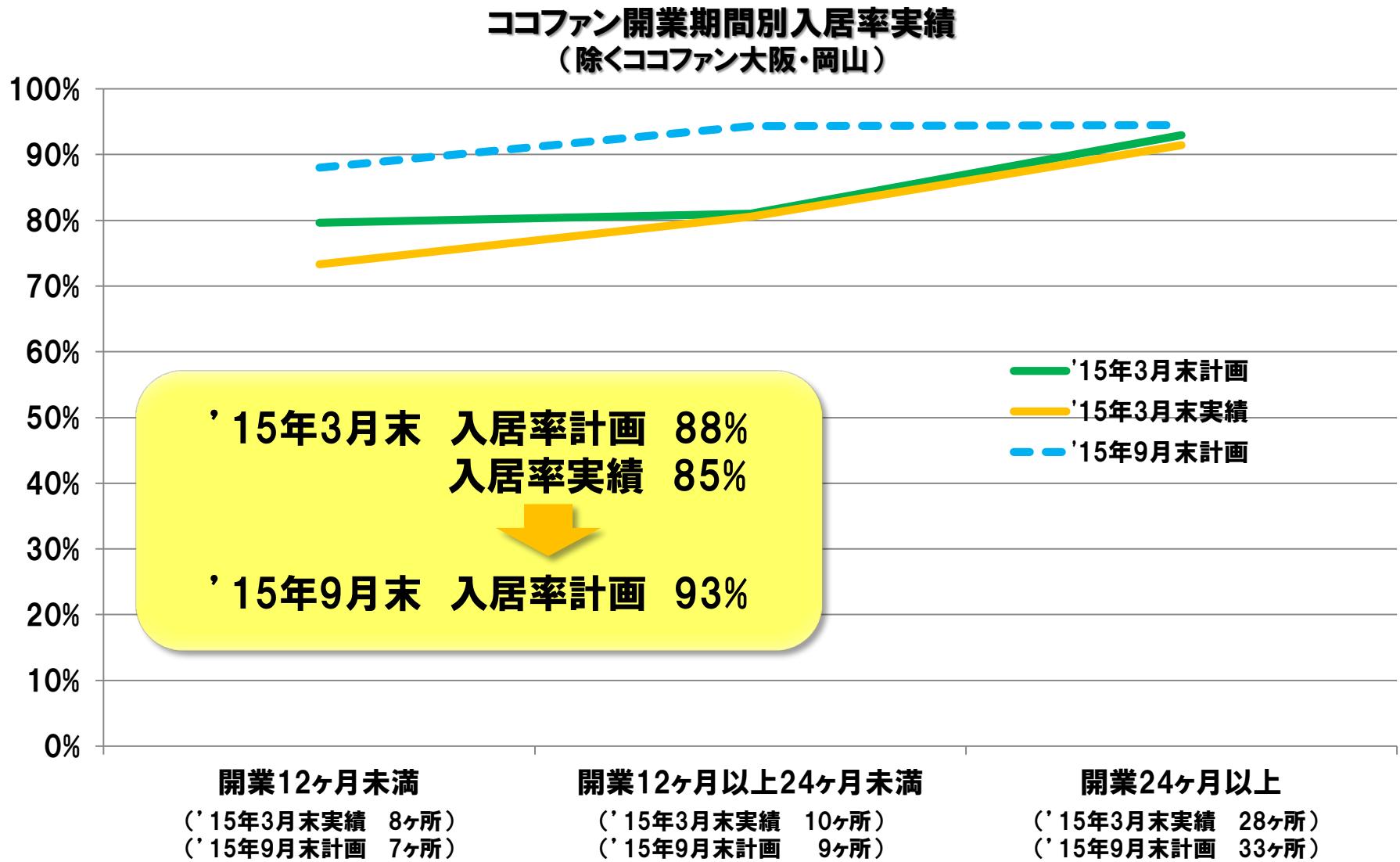
'15年9月期通期の地域別開設予定

開設数	開設地域
高齢者施設	大阪府(5) 岡山県(2) 愛媛県(1) 千葉県(1) 神奈川県(1) 東京都(2) 《計12拠点》
保育施設	東京都(5) 千葉県(2) 神奈川県(3) 《計10拠点》

(2) 高齢者福祉・子育て支援事業 高齢者住宅(ココファン)入居率の状況①

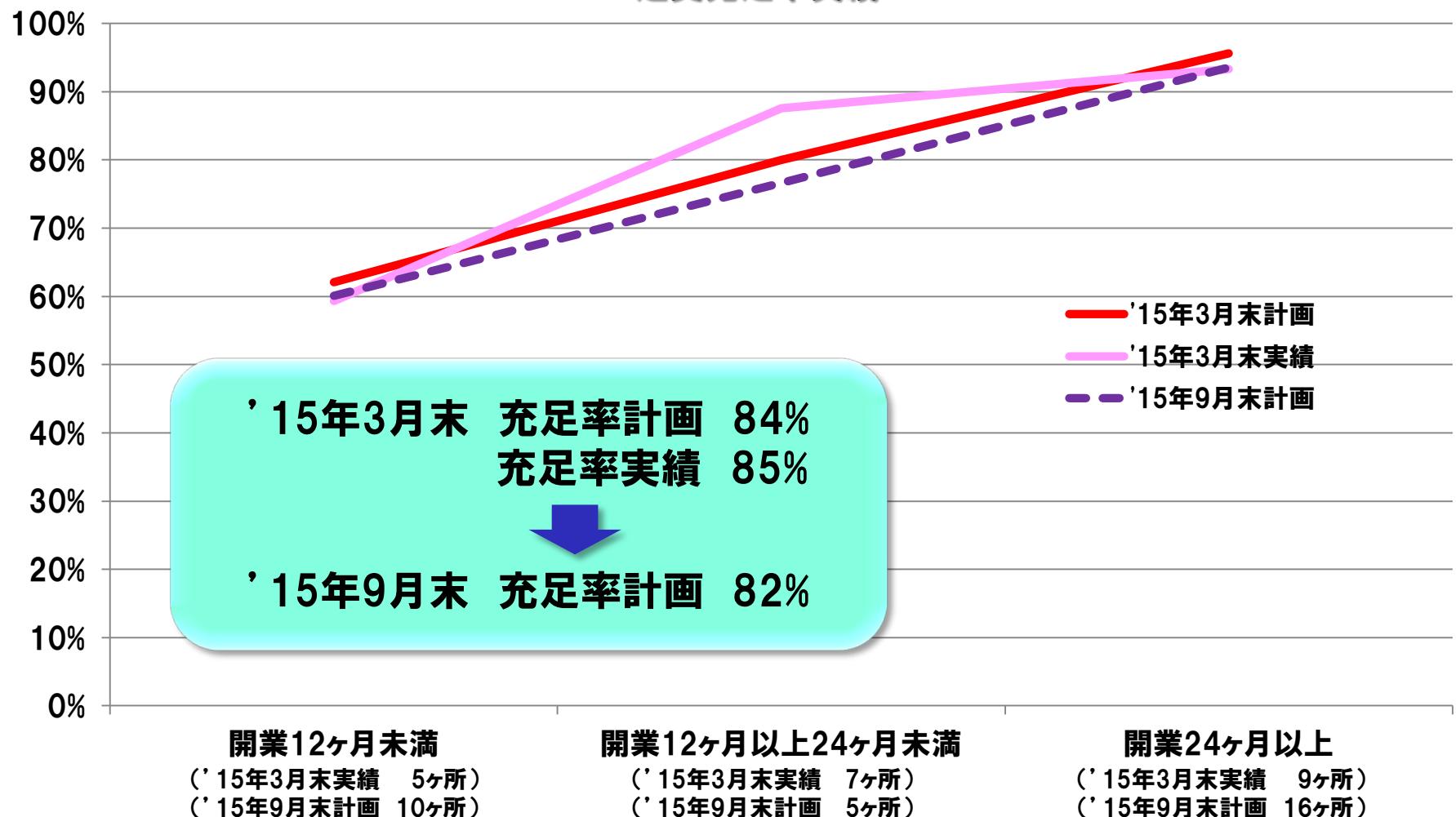


(2) 高齢者福祉・子育て支援事業 高齢者住宅(ココファン)入居率の状況②



(2) 高齢者福祉・子育て支援事業 子育て支援施設充足率の状況

ココファン・ナーサリー開業期間別
定員充足率実績



(2) 高齢者福祉・子育て支援事業 入居率・充足率の状況(2015年3月末)

		'14年9月末		'15年3月末		'15年9月末 計画
		計画	実績	計画	実績	
高齢者福祉事業 (除く西日本エリア承継 7施設)	総戸数	3,287	3,210	3,271	3,271	3,456
	入居数	2,771	2,616	2,883	2,800	3,179
	入居率	84%	81%	88%	86%	92%
高齢者福祉事業	総戸数			4,086	4,086	4,271
	入居数			3,364	3,318	3,824
	入居率			82%	81%	90%
子育て支援事業	定員数	1,580	1,389	1,389	1,389	1,935
	園児数	1,220	1,170	1,167	1,175	1,578
	充足率	77%	84%	84%	85%	82%

※高齢者福祉事業は(株)ユーミーケアの計画及び実績値を含む

(2) 高齢者福祉・子育て支援事業 開設推移及び予定

